

JAAF
CHIBA

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2022年11月10日発行

千葉県PRマスコットキャラクター「バくん」
千葉県許諾第A 287-18号

アフターコロナ、新しい取り組みを

会長 宇野 裕

間近に冬を迎えようとしています、皆様いかがお過ごしでしょうか。一般財団法人千葉陸上競技協会所属の競技者及び役員・理事はじめ関係者の皆様には、日頃より本協会の活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。昨年の東京オリンピック・パラリンピック、本年のオレゴン世界陸上には、本県縁の選手が複数出場し私も応援の毎日を過ごしました。選手の健闘を称えとともに今後の活躍をお祈りします。

コロナ禍での競技会の運営について、2021年度は感染防止のため主催競技会はすべて無観客で開催いたしました。関係の皆様のご理解とご協力により事故なく無事に開催できましたことを感謝いたします。

2022年度は、4月の県記録会を前年同様に無観客で開催しましたが、その後大型イベント開催の規制が緩和され、会場となる千葉県総合スポーツセンターの指導の下6月の千葉県選手権では許可制ながら有観客で開催いたしました。高体連及び中体連主催の競技会も同様に開催されております。感染状況にもよりますが、一日も早く以前の競技会運営に戻ることを祈っております。

競技者の皆様もトレーニング等に多くの制限を強いられている中、各競技会では好記録が続出するなど、努力と工夫の成果であると強く感じております。特に中学校や高等学校の部活動では、いかにモチベーションを下げずにトレーニングを続けていけばよいか大変難しいと思います。感染予防や事故防止に注意を払いながらも競技力の向上と陸上競技の発展のため、指導者の皆様にはお力添えをいただきたいと思います。新しい指導者養成プログラムも始まりました。ジュニア競技者も含め、未来の千葉の星となる多くの競技者が育ってくれることを願っております。

さて、2回の国体を開催した千葉県総合スポーツセンター陸上競技場ですが、ご存じのとおり夜間照明や大型映像装置がなく、全国レベルの競技会の開催は難しい状況です。本協会からも同施設の設置を強く要望しているところですが、この度本年度の千葉県予算に大型映像装置設置の調査費用が計上されることになりました。残念ながらまだ工事着工には至りませんが、近い将来陸上競技場に大型映像装置の設置が実現します。少しずつですが施設設備の改善も進んでおり、夜間照明についても引き続き要望を続けてまいります。

コロナ禍も収束の兆しを感じられ、陸上競技に限らずスポーツ界が以前の活況を呈する日も遠くはないでしょう。皆様には今後も本協会所属の競技者や公認審判員など陸上競技に関わる貴重な人材として、本協会の発展にご支援いただけますようお願いいたします。



陸上部紹介

「木更津市立太田中学校」

木更津市立太田中学校陸上競技部は、3年生31名、2年生32名、1年生33名の合計96名で活動しています。本校の校歌にある「挫けぬ意志」をもとに日々の練習に励んでいます。昨今の成績としては、100m、200m、400m、800m、1500m、ハードル、砲丸投げ、四種競技で関東・全国大会に出場し、活躍することができました。

本校の陸上競技部では、部内に競い合う仲間がいるから気持ちを強く持てる、応援してくれる仲間がいるから辛い練習もやり抜くことができた、という「チームとして」の雰囲気大切にしながら活動しています。陸上競技の楽しさは、上位の大会に出場することもそうですが、自分自身の記録が伸び、成長が感じられるところにあると思います。だからこそ部員一人ひとりの努力を大切に考えています。監督がいなくても、質の高い練習ができるように一人ひとりが目標を設定し、自分の改善点や練習の意味を理解しながら取り組んでいます。全員が力を伸ばした結果、昨年度は県総合体育大会で男女総合準優勝を獲得、今年度は女子100mHで全国大会準優勝の成績を上げることができました。

今後も多くの選手から笑顔が生まれるよう、みんなで努力していきたいと思います。応援よろしくをお願いします。



「柏市立柏高等学校」

本校は「イチカシ」の愛称で親しまれ、運動部・文化部を問わず、多くの部が毎年、関東大会・全国大会へ出場し、素晴らしい成績を収めております。陸上競技部もその一つです。これまでの主な成績は、2005年全国高校男子駅伝出場、2016年インターハイ男子1500m第7位、2021年U20日本選手権男子800m第5位となります。また、一昨年より2年連続で関東高校女子駅伝に出場を果たしています。その他にも数多くの関東大会・インターハイ出場選手を輩出し、現在も大学や実業団で活躍する卒業生がいます。

今年度は、短長合計で男子41名、女子27名で活動しています。練習環境に恵まれ、400m土トラック、1週70m室内練習場、冷暖房完備のウェイトトレーニング場、隣接するサイクリングロードといった施設を存分に生かして日々の強化に励んでいます。5月の千葉県総体では関東大会に4種目（男子4×100mR・男子4×400mR・女子1500m・女子5000mW）出場を果たしました。他にも多数の生徒が入賞し、今後さらなる成長の気運が高まっています。

今後は、毎年全国大会に出場できるような安定したチーム力を目指すとともに、まだ果たしていない日本一への挑戦をします。顧問、部員全員が一丸となって進化していく決意で頑張っていきます。



団体紹介

市原市陸上競技協会

GOAL !!

市原市陸上競技協会は、昭和39年に設立、昭和42年に南総並びに加茂地区が加わり現在の形の市一協となりました。

平成5年に臨海競技場（現ゼットエーオリプリスタジアム）が全天候型に改築され、近代的な設備も有し県内でも有数の競技場となり、また、Jリーグの発足に伴い、ナイター設備も完備し、県内で最初のナイター陸上競技記録会を市原市体育協会（現スポーツ協会）との共催で、平成6年より開催することとなりました。今年で第29回（18、27、28は開催見送り）を数え、オリンピックや世界選手権大会に出場した選手も数多く参加する、県内外に知れ渡り、1000名を超える参加者の記録会となっています。

この他にも、市原市陸上競技協会主催の公認大会、記録会として、市原長距離記録会と市原市選手権大会（記録会）を実施し、県内各地より多くの参加者があり、特に中高生にとっては大きな意義のあるものとなっています。公認大会ではありませんが、陸上協会主催として市原市中学記録会、市原市民大会（中学高校一般の部と小学校の部に分けて実施）、市原市ロードリレーを実施しています。また、50年以上前から始まった元旦マラソンが市原高滝湖マラソンと名称を変え48回を数えています。市原高滝湖マラソン実行委員会の主催で、市原市スポーツ協会と陸上競技協会の主管で実施しています。ハーフマラソンコースがあり、年々人気が高まり全国から2500名以上の参加者で実施しています。



高滝湖マラソン



ナイター陸上



国際大会入賞者・国内大会優勝者・駅伝結果



2 1 3

令和4年度全国高等学校総合体育大会 (R4.8.3～7 徳島)

女子4×400mR 市立船橋高等学校 ① 3'44"04

篠原美咲、宮地利璃香、清水芹菜、佐藤葵唯

女子三段跳 佐々木千翔 市立船橋高等学校 ① 12m45

第41回日本学生選手権大会 (R4.9.9～12 京都)

男子110mH 村竹ラシッド 順大 ① 13"36

男子3000mSC 大吉 優亮 帝京大 ① 8'44"45

男子1500m 小野 汐音 順大 ① 4'22"75

第106回日本選手権大会 (R4.6.9～12 長居)

男子800m 金子魅玖人 中央大 ① 1'47"07

第38回U20日本選手権大会

U20 男子100m 藤原 寛人 中央大 ① 10"44

U20 男子110mH 阿部 竜希 順大 ① 13"49

U20 女子円盤投 篠原 美咲 日体大 ① 44m12

第72回国民体育大会 (R4.10.6～10 宇都宮)

少年男子B3000m

鈴木 琉胤 八千代松陰高等学校 ① 8'01"26

2022年度日本陸連公認スタートコーチ取得講習会

少子化、教職員数の減少、働き方改革に伴う部活動の日数制限と活動時間の短縮に対する対応について、数年前より文科省及びスポーツ省と日本陸連と連携して協議を重ねて参りました。特に小・中学校で活動する生徒への環境の提供で支えていく、その中の一策として指導者育成の底辺拡大をもとに新しい資格「公認スタートコーチ」の開催を、今年度より日本全国で開始する事となりました。

公認スタートコーチ講習会については、1日間で座学講習、実技講習を経て当日最後のペーパーテストに合格すれば取得できる、公認ジュニアコーチ（4日間）、公認コーチ（約2週間）に比べると取得しやすい公認指導者資格です。

全47都道府県の実験校として千葉県が令和4年6月26日（日曜）に第一回目を開催し、無事35名が新規公認スタートコーチ資格者となりました。

今年度は11月12日（日曜）に第二回目の講習会も開催され、本年度は77名の有資格者となりました。

小・中学校の教員はもとより、特に県下各市町村陸協、そしてクラブ

チームの指導者、コーチにおかれましては、学校との連携も含め、今後はこのような公認資格が選手指導や団体登録に必須になる事が予想されています。

令和5年度についても講習会を予定しておりますので該当指導者は積極的な受講をお考えください。

文責：千葉陸上競技協会普及育成部 宮野 篤



発行 一般財団法人 千葉陸上競技協会

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323

千葉県総合スポーツセンターちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内

TEL 043-252-7311 / FAX 043-252-7314

<http://www.jaaf-chiba.jp/>